

令和7年度

文化講演会

演題 森林の歴史と現状。

—東大阪市での森林ボランティア活動と八尾市の森林について—

日本の森林は、藤原京、平城京、平安京の時代まで、畿内のヒノキを使って、都の宮殿や寺社が作られていました。

しかし、平安京以後は、遷都は明治まで行われませんでした。畿内に大きなヒノキ材が無くなったのもこの原因のひとつともいわれています。

また、江戸時代には、旺盛なる薪炭需要に応えるために伐採されていたので、都市近郊の山にはほとんど木がなく、たくさんのはげ山がありました。歌川広重の浮世絵で、山に木が描かれていないのは、広重が手抜きしたのではなく、山に木がなかったからです。木がある山は、幕府や殿様の山でした。村に近い、ほとんどの山は、スキの生えた草山かはげ山でした。この草山のおかげで、3000万人の人口を支えることができました。明治のはじめころから、はげ山の植林に成功し(世界初)、六甲山も緑の山になりました。

現在の山の問題は、木が多すぎるのが問題です。戦後植林した、スギやヒノキの森林は、間伐(かんばつ=間引くこと)が必要です。間伐しない森林が増えています。大雨が降ると、土が削られ、スギやヒノキが倒れ、岩や土、水とともに谷を土石流として流れ下っていきます。間伐された森林は土石流を防止します。しかし、大阪府の林業従事者は大変少なく、間伐が行き届いていません。

森林を守っていくために、私たち一人ひとりが森林環境保全に関心を持ち、できれば関わって欲しいと思います。

日時: 令和7年10月12日(日)
午後2時～午後3時30分

場所: 八尾市文化会館プリズムホール
研修室

八尾市光町2-40

徒歩・自転車: 近鉄八尾駅中央北出口を出て東へ200m
徒歩5分。

講師: 植物案内ボランティア
葉井 正和氏

(東大阪フォレストクラブ(森林ボランティア)・
元東大阪市立中学校教諭・東大阪市役所嘱託)

申込: 令和7年10月1日(水)～
(定員に達するまで)

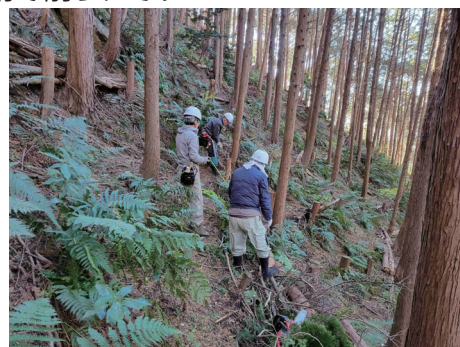
定員: 50名(先着)

電話又はファックスで、氏名・住所・連絡先電話番号
をお知らせください。

主催: 八尾市郷土文化推進協議会(文推協)



間伐がされていなくて、シダが生えていない。
大雨で削られそう



急傾斜地での活動風景。
間伐がされていて、シダが生えている。

～申込・問合せ先～

〒581-0003 大阪府八尾市本町1-1-1

八尾市教育委員会 生涯学習課内

八尾市郷土文化推進協議会事務局

電話 072-924-3893

FAX 072-924-5593